

大阪府市場だより



第383号 令和6年1月30日
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）
 連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
 U R L https://fu-ichiba.jp



絵：「伊勢えび」

常駐代表者会議

1月5日に管理棟7階講堂で、橋爪康至協会理事長参加のもと**新年互礼会**を兼ねて標記会議（三木博司

議長）が開催されました。その議事概要は次のおりです。

■黙祷
令和6年能登半島地震被災者に黙祷を捧げた。

■理事長の挨拶

昨年は、開場45周年記念も兼ねた市場開放デーが4年ぶりに開催でき、**ポストコロナの活動が本格化**。現在、市場の再整備についての検討が進められており、今年はその基本的な方針がとりまとめられる年。将来の市場の発展に繋がられるよう府とともに一致団結して取り組む。

人口減少、気候変動、国際環境の流動化、さらに4月からの働き方改革など、市場を取り巻く環境は厳しさを増す一方だが、「新鮮で安心・安全な生鮮食料品等の提供」という卸売市場の公的使命に変わりはない。さらに北部市場にとつては、**恵まれた立地環境**を最大限に発揮した**物流拠点**としての重要性が一層高まっていくと確信。

常駐メンバーより、正月の伝統的食文化が消えつつあるのではないかとの危惧が示され、議長より、**市場としてもその継承に向け、大切さを発信していきたい**との発言がなされた。

■府知事からの祝辞

中村場長が代読。

《次ページ参照》

■年末の市況

青果においては、野菜・果実とも異常気象の影響を受け入荷量の減少による単価高となった。

■その他

○協会からの報告

・茨木十日戎祭り関係の日程について、奉納日が**6日から8日に変更**。

・安全運転講習会の開催について改めて周知。

・ポーター大会について、**2月17日（土）の1時に変更**。

・人権問題研修会の開催について改めて周知。

《初市入荷量》

	令和6年		前年比
	前年	数量(kg)	
野菜	449,500	463,500	103.1%
果実	161,300	158,500	98.3%
青果合計	610,800	622,000	101.8%
生鮮	85,200	88,500	103.9%
冷凍	8,200	8,800	107.3%
加工	39,300	42,200	107.4%
水産合計	132,700	139,500	105.1%

一般衛生管理における異物混入対策について

食品衛生法が改正され、原則として、すべての食品等事業者はHACCPに沿った衛生管理の実施が求められることになりました。

HACCPでは、健康被害に繋がる要因、すなわち「危害要因」を分析し管理することで製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。この「危害要因」には、食中毒菌等による汚染だけではなく、金属片などの「異物混入」も含まれます。今回は、食品への「異物混入」の対策について考えていきます。

異物混入対策の基本は、HACCPの土台となる「一般衛生管理」に取り組むことです。「一般衛生管理」とは、施設設備の衛生管理、機械器具の保守点検、従業員の衛生教育、製品の回収等、どの食品にも共通する基本的な衛生管理のことです。その内容について異物混入対策に関わる項目を紹介していきます。

① 施設の衛生管理
施設の清掃を怠っていると、埃の蓄積や衛生害虫などの発生により、それらが食品に混入する可能性があります。食品を扱う施設及びその周辺は定期的に清掃し、清潔保持に努めましょう。

② 設備等の衛生管理

食品を製造する機械器具の部品等が食品に混入するのを防ぐために、部品等は所定の場所で衛生的に保管し、紛失等がないか確認しましょう。また、フードカッターの刃やコンベアのベルトなど機械器具の破損した破片も異物となる可能性があるため、故障や破損がある場合は速やかに補修し、適切に使用できるように整備しておきましょう。

③ ねずみ及び昆虫対策

年に2回以上ねずみ及び昆虫の駆除作業を実施しましょう。排水口に蓋を設置しましょう。

④ 食品取扱者の衛生管理

食品取扱者の髪の毛等が食品に混入しないよう、施設内では専用の作業着や帽子、マスクを着用しましょう。また、指輪やピアス等の装飾品やシャープペンシル等は異物混入の原因になるので施設内に持ち込まないようにしましょう。異物混入を防止するためには、これらの対策についてのルールを明確にし、習慣化することが大事です。また、定期的にルールを見直し、施設に応じた対策を講じていきましょう。

来月のお知らせ

○ボウリング大会

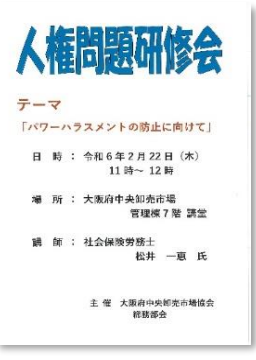
2月17日(土)に標記大会がラウンドワン高槻で開催されます。多くの皆様の参加をお待ちしています。



ボウリング大会
日時: 令和6年2月17日(土) 午後1時～
場所: ラウンドワン高槻店 高槻市社子3丁目6-4
参加費: 観料3ゲーム、賞状、飲料
※申込み方法 各社・団体を通して市場協会へ 随時受付(2/9迄)
主催: 大阪府中央卸売市場協会 福行厚生部会

○人権問題研修会

2月22日(木)に標記研修会が開催されます。



人権問題研修会
テーマ: 「パワーハラスメントの防止に向けて」
日時: 令和6年2月22日(木) 11時～12時
場所: 大阪府中央卸売市場 管理棟7階 講堂
講師: 社会保険労務士 松井 一恵 氏
主催: 大阪府中央卸売市場協会 研修部会

○食品衛生検査業務検討会

標記検討会を食品衛生検査所と食品衛生部会との共催で、場内事業者を対象に下記の日程で開催します。

対象	水産仲卸	水産仲卸	青果仲卸	青果仲卸
日時	2月9日(金) 10:30~11:00	2月8日(木) 10:30~11:00	2月15日(木) 13:00~13:30	2月20日(火) 12:00~12:30
会場	構うおいち 会議室	水産総合 会議室	大果株 会議室	青果総合 会議室

★防災訓練

2月29日(木)に標記訓練が管理棟7階講堂で開催されます。訓練内容は大阪ガスネットワーク(株)、大阪ガスッキングスクールによる「考える防災教室」と災害時を想定した「防災食の調理と試食」。

各社・団体を通じて管理ターセへの事前申し込みが必要です。多数のご参加をお願いします！

BCP 伝達訓練

1月11日(木)、地震等の災害発生時に、場内事業者から場内の被害情報を府・管理ターセに集約する伝達訓練が実施されました。



みんなで学ぼう!
防災訓練
2024年2月29日(木)
10:00~12:00
場所: 管理棟7階講堂
訓練内容: 考える防災教室、防災クッキング
※会場内ではマスクの着用をお願いします。

市場取扱高

《12月・単月》

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果計	野菜	11,620,892	103.7	2,777,372	116.8
	果実	4,896,829	90.9	2,328,204	97.7
	小計	16,517,721	99.6	5,105,576	107.3
水産物計	生鮮水産物	1,325,383	99.8	1,902,587	96.3
	冷凍水産物	292,640	103.5	620,311	97.1
	加工水産物	788,045	90.0	1,208,497	90.4
	冷凍食品	499,801	107.0	310,128	110.3
小計	2,905,869	98.4	4,041,523	95.5	
総計		19,423,590	99.4	9,147,099	101.7

《4月~12月・累月》

	種類	数量(kg)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果計	野菜	100,725,306	99.6	25,611,460	103.6
	果実	38,077,184	92.6	16,774,615	100.5
	小計	138,802,490	97.6	42,386,074	102.3
水産物計	生鮮水産物	11,315,048	97.0	13,029,755	102.9
	冷凍水産物	1,674,018	96.7	2,587,296	96.2
	加工水産物	6,307,026	89.0	9,162,891	102.7
	冷凍食品	3,191,241	93.8	1,852,922	100.8
小計	22,487,333	94.2	26,632,865	102.0	
総計		161,289,823	97.1	69,018,940	102.2

恵美須祭りの様子



マグロの初競り

令和6年の初競りが5日早朝4時15分から行われました。



水産新年互礼会

標記互礼会が1月5日の4時40分より、せり場で開催されました。

杉江水産物卸協同組合副理事長の司会のもと、冒頭で元旦に発生した能登半島大地震で被害にあわれた方々への哀悼の意を込めて参加者全員で一分間の黙祷を捧げました。

次に中村場長が挨拶に立ち、能登半島大地震へのお見舞いの言葉が述べられた後、本年の当市場の本業が辰のように発展することを祈念しますといった挨拶をされました。

茨木警察署による安全運転講習会

19日に管理棟7階の講堂で11時より茨木警察署交通課の平木係長を講師にお招きし標記講習会を開催しました。

30名弱が参加して、係長から事故の発生状況と最近の事故の発生例、その対策などについて話がありました。

特に大阪府下の交通事故による昨年の死者数は、2年連続で全国ワーストワンのなったとのことで、市場内の昨年の事故発生状況に触れつつ、実際の事故の映像も使いながら、交通事故防止に必要な心構えを丁寧に解説していただきました。

今年予定されていた川辺支社長による年頭の挨拶と花木支社長による乾杯は、震災に配慮して中止となりました。



PBL 発表会

最後に、市場周辺の不法駐車対策について、警察としても市場としっかりと連携して取り組むとの話がありました。



1月16日に大阪成蹊大学経営学部食ビジネスコース2年生22名が、PBL(課題解決型学習)の成果について、同大学内で発表されました。今回のPBLでは「非計画購買者とPOPの関係に着目した小売店の売り場づくりによる販売促進」を目的として行われました。

学生の皆さんは、府中央卸売市場の概要を学習するとともに、スーパーなどの青果物売場を見学して調査を重ねた上で、POP作成に落とし込み、京阪百貨店すみのどつ店において売り場実習を行なって、販売促進

効果を検証しました。「鍋」のテーマを決めて、どの角度から見ても鍋の食材が手に取れるコーナーづくりを行い、さまざまなPOPを掲示したことから、手に取られやすい食材や読まれやすいPOPの特徴について学びがありました。

発表会には、ご協力いただいた京阪百貨店すみのどつ店長、林田商店、府より1名ずつ出席し、発表内容についてコメント並びに講評を行いました。今回、学生の皆さんが協力して課題に取り組みされたことは、将来、食ビジネスに携わる人材として活躍されていくにあたって着実な歩みになったことと思います。(協力：林田商店)





新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会理事長 橋爪康至

苦勞された産地の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。令和6年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご支援・ご協力に心より厚く御礼を申し上げます。

まずは、元旦に発生した能登半島大地震で被害にあわれた皆様、そして昨年の猛暑や局地的大雨などで大変ご

一方で、開場45周年記念も兼ねた市場開放デーが4年ぶりに無事に開催でき、ポストコロナの活動が本格化したしました。産地やメーカー、市場関係者の皆様には大変ご尽力いただきに改めて感謝申し上げます。

現在、市場の再整備についての検討が進められており、今年はその基本的な方針がとりまとめられる年となります。将来の市場の発展、ひ

いては府民への最大限の貢献に繋げられるよう、府とともに我々も一致団結してこの難題に取り組み所存です。

人口減少はもとより、気候変動、国際環境の流動化、さらに4月からの働き方改革など、市場を取り巻く環境は厳しさを増す一方ですが、「新鮮で安心・安全な生鮮食料品等の提供」という卸売市場の公的使命に変わりはなく、さらに、北部市場にとつては、恵まれた立地を最大限に発揮した物流拠点としての重要性が一層高まっていくものと確信しております。

今年の干支は「甲辰」。あらゆる物事をいい方向へ導いてくれる力があるとのこと。何はともあれ、能登の一刻も早い復興と皆様の本業が昨年を大きく上回る盛況となりますよう心より願っております。

新年のご挨拶

大阪府知事 吉村洋文



新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

まず、1月1日に発生しました「能登半島地震」により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

府としても、被災地の1日も早い復旧・復興に向けて、引き続き、出来る限りの支援を行ってまいります。

市場関係者の皆様におかれましては、日々、生鮮食料品の安定供給に大変ご尽力をいただいておりますこと、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

昨年春、府民の皆様から再び負託を受け、知事として2期目の府政の舵取りをスタートしました。

子どもたちへの食費支援や事業者への燃料費支援をはじめとした物価高騰対策などに、スピード感を持って取り組むとともに、3年あまり続いたコロナ禍から、ポストコロナへ大きな一歩を踏み出しました。インバウンドは着実に回復し、また、関西ゆかりの阪神タイガース、オリックス・バファローズのリーグ優勝に大いに盛り上がり、さらにG7大阪・堺貿易大臣会合の成功を大阪の一層の成長

への弾みとするなど、明るい兆しが見えた1年でした。いよいよ2025年の大阪・関西万博開幕まで1年あまりとなり、入場チケットの前期販売も始まりました。訪れた方々がワクワクする万博となるよう、オールジャパン体制で全力を尽くします。あわせて、ポスト万博に向け、大阪を次なるステージに飛躍させるチャレンジを進める年としていきます。

さて、大阪府中央卸売市場は昨年45周年の節目の年を迎えました。万博の開催により、更なる成長をめざす大阪にとりま

しては、健康と食を支える当市場の重要性は一層高まるものと考えられます。今後、当市場が50周年、さらにはその先に向けて、食品流通の拠点として府民への安全・安心な生鮮食料品の安定供給機能を十分に発揮できるよう卸、仲卸をはじめとした場内事業者の皆さまとともに力を合わせて取り組んでまいりますので引き続きご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いたします。結びに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますことを祈念し、新年のご挨拶いたします。



新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場長 中村昌也

新年明けましておめでと
うございます。

令和6年の新春を迎え、
謹んで新年のお慶びを申し
上げます。

まず、1月1日に発生し
ました「能登半島地震」によ
り、お亡くなりになられた
方々のご冥福をお祈りいた
しますとともに、被災者の
皆様に心からお見舞いを
申し上げます。

市場関係者の皆様におか
れましては、日々、生鮮食料
品の安定供給にご尽力いた
だき、感謝申し上げますと
もに、平素から大阪府中央
卸売市場の運営につきまし
て格別のご理解・ご協力を
賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

水産物とも生産・流通が不安
定になっています。
さらに年度当初からは2024
年問題への対応も必要にな
るなど、卸売市場を取り巻く
状況は厳しいものがあり
ます。

コロナ禍の影響は脱しつ
つありますが、円安、物価
高騰や人手不足への対応、
気候変動の影響による天候
不順などにより、青果物・

一方で、当市場においては
これまで新型コロナウイルス
の感染対策により開催を
見送っておりました市場開
放デーを昨年11月に4年ぶ
りに開催することができ、
場内事業者の皆様、全国の各

ひるがえって、昨年5月に
は半世紀以上に亘り市場を牽
引してこられた植田前社長が
急逝されましたことを受け、
取締役全員のご推挙を受け、
後任の大役をお受けしまし
た。新しい年を迎えるに当た
り、決意を新たに、前社長の
意志を受け継ぎ、市場の更なる
発展に全力を尽くしてまい
ります。

ード感をもって、効率的・効果
的な事務事業の執行や活性化
事業を積極的に進めてまいり
ました。この結果、これまでに
概ね6億円の新たな資金を
捻出し、これを市場事業に
投資・還元してまいりました。
こうした取り組みは、指定
管理者評価委員会を始めとす
る内外から高い評価をいただ
いていますが、引き続き、効率
的な管理運営業務に努めてま
いります。

また、来年に迫りました
2025年大阪・関西万博の開催
により、更なる成長をめざす
やみません。

結びに、皆様の益々のご健
勝とご多幸を心から祈念い
たしまして、年頭のごあいさ
つとさせていただきます。

見えない新市場の景色

大阪府中央卸売市場管理センター(株) 代表取締役 橋爪康至



まず、この元日に発災しま
した能登半島地震によりお亡
くなりになられた方々に哀悼
の意を表しますとともに、被
災されました方々に心よりお
見舞い申し上げます。

とりわけ、当市場と被災さ
れました産地とは古くから強
いつながりがあり、誠に残念
であり、一日も早い復興を切
望いたしますとともに、で
きる限りの支援を行ってまい
りたいと存じます。

当社が市場の管理運営業務
を担い足掛け12年になります
が、この間、常に市場関係者の
皆様のニーズを踏まえ、スピ

整備費の負担につきまして
は、巨額の資金を要しますこ
とから、市場の公益性を踏ま
え、国及び府の制度に基づき、
現行どおり一般会計から市場
会計へ繰り出すよう求めてま
いりましたが、府においては、
自立的な市場運営を目指し、
一般会計からの繰り出しは行
わないとの方針が示されたこ
ろであります。

また、来年に迫りました
2025年大阪・関西万博の開催
により、更なる成長をめざす
やみません。

今後とも、関係各位の一層
のご支援、ご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。新
年のご挨拶とします。

まず、この元日に発災しま
した能登半島地震によりお亡
くなりになられた方々に哀悼
の意を表しますとともに、被
災されました方々に心よりお
見舞い申し上げます。

当社が市場の管理運営業務
を担い足掛け12年になります
が、この間、常に市場関係者の
皆様のニーズを踏まえ、スピ

整備費の負担につきまして
は、巨額の資金を要しますこ
とから、市場の公益性を踏ま
え、国及び府の制度に基づき、
現行どおり一般会計から市場
会計へ繰り出すよう求めてま
いりましたが、府においては、
自立的な市場運営を目指し、
一般会計からの繰り出しは行
わないとの方針が示されたこ
ろであります。

また、来年に迫りました
2025年大阪・関西万博の開催
により、更なる成長をめざす
やみません。

今後とも、関係各位の一層
のご支援、ご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。新
年のご挨拶とします。

産地やメーカーの皆様など
のご協力により、大勢の来場
者でにぎわい、盛況のうちに
終えることができるなど、
明るい兆しも見えてきま
した。

大阪にとりましては、健康と
食を支える当市場の重要性
は一層高まるものと考えら
れます。

府市場においては、従来か
ら行政に依存することなく、
市場関係者が一体となり自立
的な運営に努めていますが、
整備費等すべてを事業者でリ
スク負担することは現実的で
はなく、残念に思います。

また、来年に迫りました
2025年大阪・関西万博の開催
により、更なる成長をめざす
やみません。



コールドチェーンの一端を担う

(株)北部冷蔵サービスセンター

代表取締役社長 異計廣

新年あけましておめでとう
ございます。
○昨年を振り返る
昨年は、今年開催される
パリオリンピックに向けて

バレーボールなどスポーツ界
では明るい話題が多かったよ
うに思えます。
とりわけ野球はWBC
優勝、大谷翔平選手の活躍、

関西では阪神タイガース、
オリックスバファローズの
日本シリーズが行われ日本中
が湧き上がりました。
一方ビッグモーター、ダイ
ハツ、シャープ、宝塚歌劇団
など企業倫理やハラスメント
における注目が集まった年で
もありました。
○電気料金の値上がり
当社としては一昨年より
電気料金の急激な値上がりに

より経営が圧迫されたなか
開設者、管理センター、お客様
各位のご理解と、ご協力を
いただき誠にありがとうございました。
○本年の抱負
本年は、市場の建て替えへ
の議論も進むと思われませんが
中国、ロシアの一方的なリス
クに加え、世界中で紛争が
おき収まるどころか広がって
いるように思います。

円安を含む僅かな出来事で
原材料価格や石油価格の値上
がりなど不透明感があふれて
おり、現実問題として、市場
經由率も下がっています。当
市場のコールドチェーンを
担うべくがんばってまいり
ます。
どうか当社の業務運営に
より一層のご理解、ご協力を
よろしくお願いいたします。



どうする借金 700 億円？

大阪府中央卸売市場管理センター(株)

専務取締役 宮前茂

辰年は飛躍の年と言われて
いますが、再整備は着地点が
見えない混沌とした状況の中
での幕開けとなりました。
府においては、再整備に
当たり『民間資本の活用を前
提とした自立的な市場運営を

目指し、整備費及び建設資材
の高騰等に伴う上振れの
リスクは事業者の負担とし、
一般会計税金から市場会計
への繰り出しは行わず、
また、一般会計からの繰り出
しがなければ将来のリスク

をカバーできないというので
あれば、行政として無理に押
し切って進める話でもない』
との方針が確認されました。
このことは、整備費のみな
らず、その財源となる企業債
の支払利息、修繕費及びその
上振れも事業者負担となり、
国の交付金や民間収益施設の
収入を考慮しても、試算上700
億円以上の負債を場内事業者
が抱え込むことになり、また、
施設使用料は再整備後に決定
され、店舗の移転費用等の

リスク負担も不透明なため、
現スキームで再整備を進める
ことは「無理ゲー」の世界と
考えます。
そもそも、市場は公益性を
有することから、国は企業債
の元利償還金の50%と営業
費用の30%相当の税金を
市場会計に投入できる制度を
設け、また、そのうち、自治体
の財政力に応じて最大70%
が国から自治体に補填される
こととされており、当市場も
同制度が適用されてきました

が、今回、何故適用されないの
か不思議に思いますし、こう
したなかで市場の成長戦略を
どのように実現していくので
しょうか。
新市場へのわくわく感が
薄れつつありますが、次世代
に誇れる魅力ある市場づくり
を目指していくことが我々の
使命であり、新たな事業手法
を模索していくことも必要で
あると考えますので、市場
関係者の皆様方の一層のご
支援をお願い申し上げます。



奉納祈願

商売繁盛を祈念して、1
月8日の早朝、茨木恵美須
神社に、招福大マグロ(大
庄水産提供)と青果物(メー
クイン、玉ねぎ、白菜、りんご、み
かん)(青果卸売協同組合
提供)を奉納しました。
奉納品は午前8時に、

法被姿の関係者16人が
茨木恵美須神社の拝殿に
運び込みました。奉納式で
は関係者が参列する中、
宮司のお祓い、祝詞に続い
て代表者(水産組合の山口
社長(大庄水産)、青果組合
の西田理事長、管理ター
宮前専務)が玉串を奉奠し、
全員で商売繁盛を祈願しま
した。

宝恵籠の場内練歩き

1月11日の9時半頃、
地元茨木神社の恵美須講の
福娘6人をはじめ「宝恵
籠」一行約30人が来場しま
した。まず、今村恵美須講
元から訪問の挨拶があり、
次に中村場長が一行に歓迎
の挨拶をされました。

その後、一行は打ち鳴ら
される太鼓と鉦に合わせ、
「商売繁盛で笹もってこ
い」の掛け声を響かせなが
ら、青果卸売場から水産卸
売場を練り歩きました。
ご祝儀の申し出の際に
は、福娘から奉納者に福笹
が手渡され、今年一年の
「招福来幸・商売繁盛」を

祈念して関係者全員で一本
締めが行われました。
《次ページを参照》





変化への対応

(株)大水 執行役員
北部支社長 花本章男

新年明けましておめでとう
ございます。謹んで新年のご
挨拶を申しあげますと共に
旧年中に賜りましたご厚情に
御礼申し上げます。

昨年、コロナ禍が落ち着
きをみせる中、海外では、ロシ
ア/ウクライナ紛争に加え、
中東イスラエルからも新たな
紛争が勃発する等、世界情勢
は、より一層、不安定感を増し
ています。

我々水産業界においても、
温暖化、天候不順による漁獲
不安定、為替の乱高下による
輸入商材の相場不安定等を含
め、前年同様の厳しい一年と
なりました。

我々は、このような変化の中、
如何に自らも変わり、対応を
図っていくのかを念頭に
置き、生鮮食料品の安定供給
を目指します。

皆様方と協力して、確りとし
た方向性を決定し、府市場の
利点を活かした、将来の変化
にも対応出来る市場つくり
に貢献出来るように取り組ん
でまいります。



未来の市場に向けて

大阪府青果卸売協同組合
理事長 西田景典

令和6年の年頭にあたり、
謹んで新春のお慶びを申し上
げますとともに、皆様方
におかれましては恙なくご家族
お揃いで健やかに新春を迎え
られましたことと心からお

慶び申し上げます。
昨年も、国内では各地で
記録的大雨が続き九州北部・
中国・北陸・東北地方で大雨に
よる浸水や土砂崩れの被害が
発生しました。特に昨年7月、

福岡・大分・佐賀県で線状降水
帯が相次いで発生し、土砂災
害や河川の氾濫・決壊、大規模
な浸水被害が相次ぎ、農作物
にも大きな被害が出ました。
今後はできるだけ変動する
環境を予測して災害に備え、
可能な限り被害の最小化と
迅速な復興手段を準備してお
くことが必要だと思います。

を進める一方、市場施設等
整備構想策定検討委員会と
共に建て直しを視野に入れ、
府、管理センター(株)と会議を
繰り返しています。当組合と
しては、組合員の意見を取り
纏めつつ、少しでもこの市場
がより良い形で発展してい
ます様に努めて参ります。

と期待に出来る流通拠点とし
ての役割を果たせるよう、
より一層努力して参りますの
で、皆様方の相変わらぬご
支援、ご鞭撻の程をよろしく
お願い申し上げます。



公的使命を担う市場として

大阪府水産物卸協同組合
理事長 榎本昭弘

はじめに、元日に発災しま
した「令和6年能登半島地震」
によりお亡くなりになられた
方々に哀悼の意を表します
とともに、被災された全ての
方々に心よりお見舞い申し上

げます。
昨年は、コロナ前の日常が
戻りつつある中で、物価高が
我々の生活を直撃し、水産業
を取り巻く経営環境も、世界
的な気候変動、乱獲、燃料費

高騰、漁業者不足、円安など
から漁獲高の減少や高値とな
って非常に厳しい状況が続い
ています。
昨年来、事業経営を圧迫
しております電気代の高騰に
ついては、私共の要請に対し
大阪府で助成措置を講じてい
ただいたところであり、本年
も、安全・安心な生鮮食料品を
迅速かつ安定的に供給する
という市場の基本的な役割を

果たせるよう組合活動を強化
してまいります。
また、福島県産水産物の
風評被害の拡大防止にも引き
続き取り組んでまいります。
現在検討を進めている再
整備計画については、当市場
が将来にわたり競争力のあ
る、選ばれる市場として公的
使命を担っていけるよう、
整備内容はもとより整備費
及び将来リスクに対する負担

のあり方、整備運営手法など
重要な課題について、府をは
じめ関係各位と更に議論を
深めてまいります。一方、売
場の温度管理、コールドチェー
ンの整備は喫緊の課題であり、
再整備計画とは別に早急に
取り組むべき課題として府に
強く要請してまいります。
本年も、組合運営にご理解
ご支援をお願い申し上げます。
新年のご挨拶といたします。



新たな市場発展に向けて
大阪北部中央青果(株)
代表取締役社長 三木博司

新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げますと共に、
旧年中に賜りました格段のご
支援、ご協力に心より厚くお
礼を申し上げます。

昨年はロシアのウクライナ侵
攻長期化に加え、イスラエルと
イスラム組織ハマスとの衝突
など世界情勢が混迷を深め、
原油をはじめ食料や原材料価
格が広範に高騰しました。

青果物の流通においても、
川上の産地が資材や肥料など
の高騰で経営を圧迫している
反面、川下の消費動向の改善
に依然力強さを欠いているう
え、昨夏の猛暑による国産野
菜の生産量減少などもあり、
卸売会社を取り巻く環境も
予断を許さない状況が続いて
います。一方で、昨年は待ジャ
パンのWBC優勝や阪神タ
イガース三十八年ぶりの日本

一などスポーツ分野で明るい
話題も多く見られました。
今年は十十二支の「甲辰」
で上昇や成長に通ずる意味が
あると言われており、過去
辰年にはノーベル賞受賞や
青函トンネル開通、瀬戸大橋
など大型建造物竣工といった
大きな変化がありました。
来年開催の大阪・関西万博
に向け急ピッチで建設が進む
中での関連業界の活性化に

加え、円安が追い風のインバ
ウンドも一層盛り上がり
期待できる等、今年も様々な
変化が見込まれます。弊社も
今年は当市場の更なる発展の
起点とすべく、一層積極営業
に努めて参ります。
年頭にあたり、皆様のご
健勝、ご多幸をお祈り申し
上げますと共に、尚一層のご
指導ご鞭撻を賜ります様、
お願い申し上げます。



魅力ある市場を目指して
大果大阪青果(株) 専務取締役
北部支社長 酒井孝博

新年明けましておめでとう
ございます。令和6年の新春
を迎え、謹んでお慶び申し上
げます。
昨年は、ロシア・ウクライナ
問題長期化、10月にはイスラ

エル・ガザ地区(ハマス)問題、
また円安が続ぎ石油・食糧・
原材料費の高止まり、先行き
不透明感による消費者のデフ
レマインドは未だ続いている
ように感じます。

コロナも5月より2類相当
から5類感染症となり、イベ
ントの開催・飲食店の通常
運営・インバウンド客増加等
により活気がよみがえりつつ
ありますが、他方人手不足
問題も生じています。
関西経済は、38年ぶりの
阪神日本一と明るい話題も
あり、また「XPO2025
大阪・関西万博」への期待等、
明るい方向へ進んで行くと

思われます。
青果業界に於いて、本年4
月よりスタートする物流・
運送業界を取り巻く諸問題に
ついて、市場・産地それぞれの
立場に於いて対応策の検討を
重ね、多方面で改革を行い
備えています。
市場再整備には経費的な
課題は無論、将来的な市場
形態を見据えた検討が必要で
あり、中長期的な視点と、今

早急に取り組まなければなら
ない短期的な視点に分けて
考える必要があります。
我々市場は日本の食を守る
唯一無二の存在である事を
自負し、時代に合った流通
構築の為「チャレンジ」「日々
改善」に取り組み、皆様方と
共に市場発展の為に努力して
参りますので、尚一層のご
指導・ご鞭撻を賜りますよう
お願い申し上げます。



一致団結と前進
(株)うおいち 執行役員
北部支社長 川邊浩一

新年あけましておめでとう
ございます。令和6年の新春
を迎え、謹んで新年のお慶び
を申し上げます。
2023年を振り返ります
と、新型コロナ感染症に対応

した行動規制が撤廃され、
経済活動の正常化が進んだ1
年でした。
また、アメリカやヨーロッ
プでは、総じて高インフレが
続いており、金融政策が引き

締められています。この影響
により、円安が進んでおり、
輸入品の物価が上昇しており
ます。
○回結力の大切さ
そんな中、WBCでの日本
の世界一に学ぶ「回結力」の大
切さは、改めて当市場におけ
る様々な問題に対し、「一致
回結」し取り組む事を、改めて
考えさせられる出来事の1つ

であったように思います。
○前進の兆し
また、水産業界においては、
「円安」による「原材料価格の
高騰」「水産加工原料の不足
と消費低迷」等々、業況は厳し
いものではありませんが、一方
で新型コロナ感染症の分類が
5類感染症に変更され、入国
制限などの規制も撤廃されま
した。

このようなことから「人流
が回復」し、繁華街ではかつて
の賑わいが戻り、外国人を
含む多くの観光客が訪れて
きており、明るい兆しも見受
けられます。
本年は、当市場の全面建て
替え問題も正念場を迎える
と思われませんが、関係各位の
皆様には、引き続きご指導ご
鞭撻を賜りますよう、お願い
申し上げます。